

株式会社富山エアポート 第1期 事業報告

(令和7年9月17日～令和8年3月31日)

1. 事業の概況

(1) 事業の経過と成果

当社は令和7年9月17日の会社設立以降、令和8年4月1日の空港運営事業の開始に向けて安全・保安の維持・向上が空港運営上最も重要な事項であると位置付け、役職員が一丸となってその準備に取り組んできました。

また、令和7年11月28日には、富山空港ターミナルビル株式会社の株式を取得し、空港ターミナルビルの運営を当社が直接行う体制を整備しました。空港基本施設及びターミナルビルを一体運営することにより、意思決定の迅速化によるオペレーションの効率化・危機管理体制の強化を目指します。

さらに、地域への誘客を促進させるため、旅行業の開始に向けて旅行業登録の手続きを進めてまいります。

(2) 設備投資の状況

当会計年度において、特筆すべき設備投資、重要な設備の除却又は売却はありません。

(3) 資金調達の状況

富山空港ターミナルビル株式会社の株式取得資金として、富山銀行から435百万円の借入れを行いました。

(4) 重要な企業結合等の状況

令和7年11月27日に、富山空港ターミナルビル株式会社の株式の84.7%を取得し子会社化しました。